



サイレント

- [サイレントについて \(1 ページ\)](#)
- [サイレントモードの構成 \(3 ページ\)](#)
- [次の作業 \(8 ページ\)](#)
- [サイレントに関する機能情報 \(8 ページ\)](#)

サイレントについて

SCCP 電話機のサイレントモード

サイレント (DND) 機能を使用すると、電話機ユーザは着信コールの呼び出し音を無効にできます。DND が有効になっていると、電話機で着信コールは鳴りませんが、視覚的なアラートと、コール情報の表示は行われるため、必要であればコールに応答できます。ローカル IP Phone が [DND] 状態の別の ローカル IP Phone に発信した場合、「Ring out DND」というメッセージが発信元電話機に表示され、発信先の電話機が DND 状態だという旨が表示されます。

電話機ユーザが、アイドルまたは呼び出し通話状態で DND ソフトキーを使用すると DND のオン・オフを切り替えることができます。SCCP 電話機ユーザは、電話機で DND がまだアクティブになっていない場合にのみ、呼び出し状態で DND のオンとオフを切り替えることができます。新しい着電があった際に、DND がすでにオンの場合、SCCP 電話機ユーザが DND ソフトキーを押しても DND 状態を変更することはできません。

SCCP 電話機ユーザが着信コール中に DND を切り替えても、DND 状態は、現在のコールの間のみはアクティブのままになります。SIP 電話機ユーザが着信コール中に DND を切り替えると、現在のコールの間に加え、ユーザが明示的に DND をオフに切り替えるまで、将来のすべてのコールに関しても DND 状態はアクティブのままになります。

Call Forward No Answer が有効の場合に、着信通話中に DND ソフトキーを押すと、call-forward no answer の接続先に通話が転送されます。Call Forward が無効の場合に、DND ソフトキーを押すと、着信音と視覚的なアラートは無効になりますが、通話情報は、電話機のディスプレイで表示されます。

Cisco CME 3.2.1 以降のバージョンでは、フィーチャ呼び出し機能を使用して DND を電話機でブロックできます。フィーチャ呼び出しはトリプルパルスの呼び出し音であり、内部コールや

外部コールの呼び出しリズムなど、呼び出しリズムのタイプの1つです。たとえば、米国では内部コールの呼び出しは2秒間オンになって、4秒間オフになり（シングルパルス呼び出し）、外部コールの呼び出しは0.4秒間オンになって、0.2秒間オフになり、0.4秒間オンになってから、0.2秒間オフになります（ダブルパルス呼び出し）。

トリプルパルス呼び出しは、電話機ユーザのオーディオ ID として使用されます。たとえば、販売部門の各販売員は、IP Phone のボタンを使用して他の販売員と同じセットの ephone-dn を共有し、別のボタンをお得意様への専用回線として使用できます。着信コールが自分宛の専用回線かどうかを販売員が簡単に識別できるように、フィーチャ呼び出し機能を使用して専用回線を設定できます。DND 機能は、フィーチャ呼び出し回線で無効にできます。前の例では、販売員は自分の電話機で DND をアクティブ化しても、専用回線へのコールを聞くことができます。

SIP 電話のサイレントモード

Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョンでは、SIP 電話機のサイレント（DND）機能を使用して、着信コールで電話の呼び出し音が鳴らないように設定できます。DND を有効にすると、電話機は呼び出し音を鳴らす代わりに、アラートを点滅して着信コールを視覚的に示し、必要に応じて電話に出ることができます。「サイレントがアクティブです（Do Not Disturb is active）」というメッセージが電話機に表示され、通話は Missed Calls ディレクトリに記録されます。

Cisco Unified CME 7.1 よりも前のバージョンでは、DND 機能を使用すると、ビジー音が流れて SIP 電話機への着信コールがブロックされます。Cisco Unified CME は電話機のすべての回線へのコールを拒否し、発信者にビジー音を流します。受信されたコールは電話機の Missed Calls ディレクトリに記録されません。

DND は電話機のすべての回線に適用されます。電話機で DND とすべてのコールの転送の両方が有効になっている場合、着信コールではすべてのコールの転送が優先されます。

SIP 電話機の DND は、Cisco Unified CME から有効にする必要があります。呼び出し状態とアイドル状態の両方で、サポートされる SIP 電話機に DND ソフトキーがデフォルトで表示されます。音声登録テンプレートを使用すると、ソフトキーを削除したり、順番を変更したりできます。

電話機ユーザは、DND ソフトキーを使用すると、電話機で DND のオンとオフを切り替えることができます。SIP 電話機ユーザが着信コール中に DND をアクティブにすると、現在のコールの間に加え、ユーザが明示的に DND をオフに切り替えるまで、将来のすべてのコールに関しても DND 状態はアクティブのままになります。

電話機ユーザが電話機で DND のオンとオフを切り替えた場合は、Cisco Unified CME をリブートする前に実行中の設定を保存しておく、電話機をリセットまたは再起動した後、Cisco Unified CME が DND 状態を復元します。

構成情報については、[SIP 電話機でのサイレントモードの設定（5 ページ）](#)を参照してください。

[表 1 : SIP 電話機の DND 機能の比較（3 ページ）](#)に、さまざまな電話機ファームウェアバージョンの SIP 電話機の、DND 設定の比較を示します。

表 1: SIP 電話機の DND 機能の比較

	電話機ファームウェア 8.3 の Cisco Unified IP Phone 7911、7941、7961、7970、または 7971	8.2 Phone Load or Cisco Unified IP Phone 7940 または 7960 の Cisco Unified IP Phone 7911、7941、7961、7970 または 7971
DND のサポート	音声登録プールモードの dnd コマンド	音声登録プールモードの dnd コマンド
DND ソフトキーのディスプレイ	音声登録テンプレートモードの softkey idle および softkey ringIn コマンド	音声登録テンプレートモードの dnd-control コマンド
設定時の動作	着信コールに対して呼び出し音がオフになります。視覚アラートが表示されます。	コールは拒否され、発信者にビジー音が流れます。

サイレントモードの構成

SCCP 電話機でのサイレントモードのブロック

フィーチャ呼び出し用にボタンが設定されている電話機で DND をブロックするには、次の手順を実行します。DND は、ソフトキー対応の Cisco Unified IP Phone で DND ソフトキーを使用して有効化します。



制約事項

- 電話機ユーザは、ハントグループで、共有回線に対して DND を有効にすることはできません。アイドル状態または呼び出し状態でもソフトキーは表示されますが、ハントグループでの共有回線に対しては、DND は有効化されません。

始める前に

- Cisco Unified 3.2.1 以降のバージョン。
- `button f` コマンドを使用して、フィーチャ呼び出しに対応するように電話回線が設定されていること。
- コールの転送に DND が使用されるよう、電話機に無応答時コール転送が設定されていること。構成情報については、[Call Transfer](#) および [Forwarding](#) の構成を参照してください。基本的な DND には、その他の設定は不要です。

手順の概要

1. enable

2. **configure terminal**
3. **ephone phone-tag**
4. **no dnd feature-ring**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone phone-tag 例： Router(config)# ephone 10	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。 • <i>phone-tag</i> — 構成する Ephone を識別する一意のシーケンス番号。
ステップ 4	no dnd feature-ring 例： Router(config-ephone)# no dnd feature-ring	電話機が DND モードになっている場合に、機能呼び出し用に構成された電話機ボタンで呼び出しを有効化します。
ステップ 5	end 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

例

次の設定例では、DND が ephone 1 と ephone 2 でアクティブになっている場合、button 1 は鳴りますが、button 2 は鳴りません。

```
ephone-dn 1
  number 1001

ephone-dn 2
  number 1002

ephone-dn 10
  number 1110
  preference 0
  no huntstop

ephone-dn 11
```

```
number 1111
preference 1

ephone 1
button 1f1
button 2o10,11
no dnd feature-ring

ephone 2
button 1f2
button 2o10,11
no dnd feature-ring
```

SCCP 電話機でのサイレントモードの確認

show ephone dnd

このコマンドを使用して、DND が有効になっている SCCP 電話機のリストを表示します。

```
Router# show ephone dnd

ephone-1 Mac:0007.0EA6.353A TCP socket:[1] activeLine:0 REGISTERED
mediaActive:0 offhook:0 ringing:0 reset:0 reset_sent:0 paging 0 debug:0
IP:1.2.205.205 52486 Telecaster 7960 keepalive 2729 max_line 6 DnD
button 1: dn 11 number 60011 CH1 IDLE
```

SIP 電話機でのサイレントモードの設定

SIP 電話機でサイレント（DND）機能を有効にするには、次の手順を実行します。



制約事項

- Cisco Unified Cisco Mobility Express 7.1 以前のバージョンでは、**dnd-control** コマンドを使用して SIP 電話機の DND ソフトキーを有効にします。
- 電話機の DND を有効にし、DND ソフトキーを削除すると、電話機で DND を切り替えられなくなります。

Cisco Unified IP Phone 7911G、7941G、7941GE、7961G、7961GE、7970G、および 7971GE

- ファームウェア 8.3以降のバージョンを使用する SIP 電話機の場合、DND 機能によって電話機の呼び出し音は鳴らなくなります。ただし、コールがブロックされたり、発信者にビジー音が流れることはありません。
- 電話機ユーザによって DND が無効に設定されている場合、電話機がリセットまたは再起動された後、DND は有効になりません。DND は、Cisco Unified Cisco Mobility Express および 電話機の DND ソフトキーを使用して有効にする必要があります。

始める前に

- Cisco CME 3.4 以降のバージョン。

- Cisco Unified Cisco Mobility Express 7.1 以降のバージョンでは、DND ソフトキーを使用します。
- コール転送に DND が使用されるように、SIP IP Phone に話中転送が設定されていること。構成情報については、[Call Transfer](#) および [Forwarding](#) の構成を参照してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register template *template-tag***
4. **softkeys idle { [*Cfwdall*] [*DND*] [*Gpickup*] [*Newcall*] [*Pickup*] [*Redial*] }**
5. **softkeys ringIn [*Answer*] [*DND*]**
6. **exit**
7. **voice register pool *phone-tag***
8. **dnd**
9. **template *template-tag***
10. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	voice register template <i>template-tag</i> 例： Router(config)# voice register template 5	ephone テンプレート コンフィギュレーションモードを開始して、ephone テンプレートを作成します。 • <i>template-tag</i> —作成される ephone テンプレートの固有識別子。範囲は 1 ~ 10 です。
ステップ 4	softkeys idle { [<i>Cfwdall</i>] [<i>DND</i>] [<i>Gpickup</i>] [<i>Newcall</i>] [<i>Pickup</i>] [<i>Redial</i>] } 例： Router(config-register-temp)# softkeys idle	アイドル通話状態時に、SIP 電話機に表示されるソフトキーの順序とタイプを変更します。
ステップ 5	softkeys ringIn [<i>Answer</i>] [<i>DND</i>] 例：	通話呼び出し中状態時に SIP 電話機に表示されるソフトキーの順序とタイプを変更します。

	コマンドまたはアクション	目的
	<code>Router(config-register-temp)# softkeys ringin dnd answer</code>	
ステップ 6	exit 例： <code>Router(config-register-temp)# exit</code>	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 7	voice register pool <i>phone-tag</i> 例： <code>Router(config)# voice register pool 1</code>	音声レジスタプールコンフィギュレーションモードを開始して、SIP 電話機にパラメータを設定します。
ステップ 8	dnd 例： <code>Router(config-register-pool)# dnd</code>	電話機で DND を有効にします。 • Call Forward No Answer が内線番号に構成されていない場合、DND ソフトキーを押すと、着信通話の着信音がミュートになります。
ステップ 9	template <i>template-tag</i> 例： <code>Router(config-register-pool)# template 5</code>	ephone テンプレートを電話機に適用します。 • <i>template-tag</i> — ステップ 3 (6 ページ) で作成したテンプレートの固有識別子。
ステップ 10	end 例： <code>Router(config-register-pool)# end</code>	特権 EXEC モードに戻ります。

例

次の例では、電話機 130 で DND が有効化されており、その電話機に割り当てられた template 6 で DND ソフトキーが変更されたことを示しています。

```
voice register template 6
  softkeys idle Gpickup Pickup DND Redial
  softkeys ringIn DND Answer
!
voice register pool 130
  id mac 001A.A11B.500E
  type 7941
  number 1 dn 30
  template 6
  dnd
```

次の作業

Ephone ハントグループと Cisco Unified Cisco Mobility Express B-ACD のエージェント状態制御

ephone ハントグループエージェントは、電話機の DND 機能または HLog 機能を使用して、受信可/受信不可ステータス（コールを受信できるかどうかを示すステータス）を制御できます。DND ソフトキーを使用すると、電話機の内線番号で通話を受信しなくなります。HLog ソフトキーを使用する場合、ハントグループの内線番号では通話が受信されませんが、他の内線番号では通話が受信されます。エージェントステータスの制御と HLog 機能の詳細については、[通話対応機能](#)を参照してください。

コール自動転送

DND ソフトキーを使用して通話を転送するには、SCCP 電話機で無応答時通話転送を有効にするか、SIP IP Phone で話中転送を有効にします。「[Call Transfer および Forwarding の構成](#)」を参照してください。

機能アクセスコード (FAC)

標準またはカスタムの機能アクセスコード (FAC) が有効になっている場合、DND は、DND ソフトキーではなく、FAC を使用してアクティブ化および非アクティブ化できます。DND の標準 FAC を次に示します。

- DND **7

「[機能アクセスコード](#)」を参照してください。

ソフトキーディスプレイ

DND ソフトキーは、削除または位置を変えることができます。「[ソフトキーのカスタマイズ](#)」を参照してください。

サイレントに関する機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェアリリーストレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェアリリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 2: サイレントに関する機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
サイレント	7.1	SIP 電話機の DND サポートが拡張され、着信コールでアラートを視覚的に点滅できるようになりました。
	3.4	SIP 電話機の Do-not-disturb (DND) ソフトキーのサポートを追加しました。
	3.2.1	フィーチャ呼び出し電話機の DND バイパスが導入されました。
	3.2	DND が導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。